

安全で健康に働きやすい企業の証し 厚生労働省認定「Wマーク」

厚生労働省認定マーク



安全衛生優良企業の認定を受けるには、過去3年間で労働安全衛生関連の重大な法違反がないなど、企業として基本的な取り組みができていること。加えてメンタルヘルス対策や過重労働防止対策など、幅広い分野で積極的な取り組みを行っていることが求められる。そして厳しい審査を経たのちに、基準を満たした企業に3年間の認定が与えられる。

すべての企業で財産となる“人”

日本の国民性として挙げられることが多い勤勉さ。しかし熱心に仕事に取り組む一方で、体や心が疲弊し健康を害するまで働きづめとなってしまうことも少なくない。

安全衛生優良企業とは、労働者の安全や健康を確保するための対策に積極的に取り組み、高い安全衛生水準を維持・改善していると厚生労働省から認定を受けた企業のこと。労働災害の防止や労働者の健康確保対策は働く人やその家族にとって大切なことだが、積極的に取り組む企業の認知は決して高いものではない。この制度を通じて労働安全衛生対策の大切さをより広く認知してもらい、積極的に取り組む企業を応援することを目指すことに、2015年6月からスタートした。

優良企業に認定されると、労働者の安全や健康を守る企業として厚生労働省のホームページに企業名が公表されるほか、安健や商品などに使用できるようになる。このマークを使用することで、社外に対しても企業イメージの向上や取引先へのアピールとなり、労働環境が良い企業として求職者からの関心も得やすい。また社内に対しては従業員の働く意欲の向上や安全・健康確保による生産性の向上など、認定のメリットは多岐にわたる。

近年、従業員に長時間の残業を強要したり、過剰なノルマを課すといった、いわゆる「ブラック企業」が社会問題となっている。労働者が健康で安全に働くことができる環境づくりは、企業の重責といえるだろう。こうした状況に対する取り組みの一つとして厚生労働省が導入したのが、「安全衛生優良企業公表制度（Wマーク）」だ。

安全・健康に働く環境づくりを評価

企業にとっての財産はさまざまだが、どの企業においても大きな財産であるのが“人”だ。労働者にとって、企業にとつてもベストな労働環境をつくっていくことが、企業の成長、そして労働者の幸せへとつながっていく。

企業にとっての財産はさまざまだが、どの企業においても大きな財産であるのが“人”だ。労働者にとって、企業にとつてもベストな労働環境をつくっていくことが、企業の成長、そして労働者の幸せへとつながっていく。